

余丁校通信



1月の生活目標

手洗い・うがいをしっかりとしよう。

門松や おもへば一夜 三十年

松尾 芭蕉

新しい はじまり

校長 佐藤 郁子

明けまして、おめでとうございます。

2026年、令和8年の幕開けです。

冒頭の句は、芭蕉 34歳の時のものです。この頃、芭蕉は「宗匠立机」（そうしゅうりき：プロの俳諧師のこと）になり、俳句の道で食べていこうと決意したそうです。新年とともに新たな決意を胸に秘め、それまでの人生を振り返った句なのでしょう。ミレニアムイヤーと騒がれた 2000 年から、もう 26 年。この句のように 30 年は長いですが、振り返ってみると、過ぎた時間はアツという間です。

さて、今年の干支は午です。十二支は元々、木星の位置を表すために利用されており、それぞれの漢字の意味は動物とは無関係です。本来は植物の生長状態を表しているといわれます。

今年の「午」は、草木の成長が完全に頂点に達した状態を象徴します。午は「火」の陽を表し、外向きのエネルギーが最大化される時期です。草木はこの段階で完全に生長し、その美しさと力強さを見せるときに枯れ始め、次の生命（果実）の準備を始めると言われています。

一つの命が輝きを最高潮に見せ、次代へと繋いでいくともれます。これから 30 年はどのような時代になっていくのでしょうか。一つ言えることは、今、余丁町小に通っている児童が、30 代、40 代となり、確実に社会の中心で活躍しているということです。まだまだ先の話と思っていますが、冒頭の句で芭蕉も詠んでいます。「30 年も振り返ってみれば、夢のような一夜だった」と。4 月には、令和生まれの児童が入学してきます。

3学期はすぐに終わってしまいます。児童が新たな学年・学校への一歩をしっかりと踏み出せるように、教職員一同努力してまいります。

地域・保護者の皆様には、引き続きのご支援、ご協力をよろしくお願ひいたします。

相談室より

スクールカウンセラー

2026 年が始まりました。年末年始はどのように過ごしましたか？新しい 1 年の始まりに今年の目標を立てた人もいるかもしれません。皆さんにとって素敵な 1 年になることを願っています。

冬休みが明けて新学期になり、なんだか落ち着かない気持ちでいる人もいるかもしれません。相談室では、気持ちをほっとさせたり、楽しくおしゃべりしたりして過ごすなど、それぞれの気持ちにあわせて今後も利用してほしいと思います。

寒くなってきて、風邪やインフルエンザなども増えてきています。ここでのエネルギーが低下すると身体のエネルギーも低下することがあります。ここと身体は密接に関係しています。そのため、忙しい時こそ、こころと身体の健康を意識して、ぜひ休息の時間も取り入れてください。

保護者の皆様も「こういう相談はしてもいいのだろうか」と悩む時があるかもしれません、遠慮なさらずにお気軽に相談室をご利用いただけますと幸いです。

書き初め展について

文化的行事担当

先月の学校だよりでお知らせしましたが、3学期初めに席書会を行います。この学習の成果を書き初め展として各教室前の廊下・ワークスペースに展示します。下記日程で行いますので、ご観覧ください。

作品 1・2年生 硬筆による作品
3~6年生 毛筆による作品

日時 令和8年1月19日(月)～1月30日(金)
15:30～16:30 ※上履きをご持参ください。

※席書会の詳細につきましては、行事予定と
12月の学校だよりでご確認ください。